

## —自分の志に気づき旗を立てよう🚩

世界青少年「志」プレゼンテーション大会ファイナリストzoom講演・対談レポ

2020年7月4日 報道局長 片山 菜摘



今回、志プレゼンテーション最優秀賞受賞者千葉百華さん、松本クリスさん、バレラシッド愛凜七さんに自分の志についてのプレゼンをしていただき、対談を行いました。志を持っている生徒、まだ探し途中の生徒計26名が参加しました。私はこの会に参加して、志をもってアクションを起こしている人は輝いていて素敵だなと感じました。本校の教育目標「志の涵養」もまた、とても素敵で誇らしいものだと感じます。では、達成するために私たちはどのように自分の志に気づき育ててゆけば良いのでしょうか。御三方の志からヒントを得られるかもしれません。

\* 涵養...自然に水が染み込むように、少しずつ養い育てること

## バレラシッド愛凜七さん



**「地球上の全ての生き物たちが分かち合って幸せに暮らせるように、同じ志をもった仲間を増やし、地球をハッピーにする。」**

彼女は、フリースクール HAPPY EARTH を立ち上げ、ビーチクリーニングやエコバッグ使用を推進する活動、また子どもたちへ木の紙芝居をするなど環境をより良くすることを目的として活動しています。最近は無農薬栽培に興味をもち、さまざまな工夫を凝らして自宅で野菜を栽培しています。無農薬によって土や水、空気を汚さないだけでなく、微生物が育ち、土がより綺麗になるそうです。大人も子どもも地球を考えることが大事だと主張しています。彼女の活動に興味を持った人はぜひ調べてみてください。

**HAPPY EARTH face book** で皆さんの環境への考えを共有しましょう！

**世の中の役に立ちたい+自然が大好き⇒地球をハッピーにしたい  
という自分の志に気づけた**

自分が生きていて感じた課題と自分が「やりたい」「好きだ」と思えることを融合することで、彼女は自分の志に気づくことができました。また、色々な人に自分の考えを伝え、アドバイスをもらうことで自分の志をより強く明確にすることができたそうです。

**志を持つ上で重要なことは自分を強く信じること**

愛凜七さんは、やるからには100%準備し、どんなことがあっても絶対に諦めずに全力で取り組もうと決心しています。全力で行うことで、自分の行動に**意志**と**責任**そして**自信**がもてるとおっしゃっていました。。

## 松本クリスさん



### 「コンゴに学校を建て、多くの子どもたちが勉強できる環境をつくる。」

松本さんはお父さんがコンゴ民主共和国お母さんが日本人のハーフです。彼女は中学3年生のときにコンゴの識字率が半分未満だと知ったことをきっかけにこの志をもち始めました。私たちが日本で当たり前で勉強できていることが決して当たり前ではなかったと気づいたので。そして高校三年間勉学に励み、大学生になってアクションを始めました。実際にコンゴの小学校に行き、そこで子どもたちの「勉強したい」という強い訴えを耳にして、いち早く学校を建てたいと思いました。他にも日本では、日本語が話せない海外からきた子どもたちに勉強を教えるボランティアも行っています。

### 周りになんと言われようとやってやると思える志

彼女はコンゴに学校を建てるという志をもっています。それは誰になんといわれようと頑張ろうと思える強い志です。皆さんの志はどうでしょうか？まだもっていないという人が多いと思いますが、いつか絶対にそんな志を皆さん自身もつことができます。

### よりよい教育をアフリカへ

彼女は現在大学3年生で教育学部で先生になるために学んでいます。すぐにでもコンゴに行って学校を建てたいと思っていますが、決めていることがあります。日本で最低5年は先生を経験してからコンゴに行こうと思っているのです。自分が十分な教育者となってからよりよい教育をアフリカに届けたいというのが彼女の責任のある志なのです。

**志をもったら実際にその現地にいったら自分の目で見てほしい。そこでは想像だけでは得られない新たな発見があり、自分の志への勇気ももらえるから。**

## 千葉百華さん



### 心のサインに気づける大人になりたい 人の痛みの分かる人間になりたい

子どもの頃DVや育児放棄を受けていた百華さんは学校にいるときはとても明るく友だちもたくさんいるクラスの人気者でした。そんな彼女の心の中には「一人になりたくない」「みんなに嫌われたくない」という思いがありました。学校が唯一の居場所であり友人や先生にも家庭の悩みは隠していました。そんな彼女は家でとても辛い思いをしたときにいつものように元気に明るく学校にいたら一人の先生が「なんかいつもとちがくない？」と気づいてもらえて彼女はとても助けられました。そんな心のサインに気づけるような大人になりたいと彼女は思っています。

### 過去の自分に向き合い自分をさらけ出す

百華さんは、19歳のときお母さんや友だちに過去辛かったことを打ちあげました。今までそれを伝えることで自分は嫌われてしまうと考えていたので、とても勇気がいる行動でした。しかし友だちはみんな受け止めてくれてお母さんとも真剣に話し合うことができ気持ちになりました。そして自分を苦しめていたものは何かわかりました。それは「**自分のやりたいことに蓋をしておしまっていたこと**」でした。そして、自分の心の声に耳を傾けるようになりました。そうすることで彼女は自分の志に気づきました。自分には生まれてきた役割があると。この世に生まれてきたひとり一人が役割をもっていると。



### 生きることの探求・挑戦

百華さんには挑戦という言葉がよく似合うと思います。今は宮城県の人口が少なく高齢化が進んでいる地域、池月に身ひとつで移住し生きることの探求をしています。そこでは子どもたちの生き抜く力を育む「寺子屋yoca」や地域の大人たちとのコミュニケーションの場「スナックイケツキ」やイベント事業を行っています。「寺子屋yoca」では子どもたちに勉強を教えたり、子どもたちと農家に農業を体験しに行ったり、ものづくりが好きな子とすべり台を作ったり子どもたち一人ひとりの相談にのったり、子どもたちの生き抜く力を育むことを目的に活動しています。またクラウドファンディングでパンダインターンに中国に行ったり、最近ではzoomオンラインフェスを企画し100人分チケットを完売しました。百華さんは周りの目を気にしやすくても、多くのことに挑戦しています。「**挑戦のこわさをもった子を勇気づけたい**」その気持ちがよく理解できる彼女だからこそ叶えられる志だと感じました。



以上が志プレゼンテーション最優秀賞受賞者三名の志でした。この講演のあと御三方と参加者で対談が行われました。

「志についてどう考えているか」というテーマでは自分のもつ志について語りあい,こんなアクションを起こしている,まだアクションはおこせてないがこんな志をもっているんだ,達成するためにこのように生きているんだ,など多くの熱い考えを聞けました。そこででた一部のアクションを紹介すると「病気で髪のない子のために自分がやりたい髪型をすこし我慢してヘアドネーションをしている」「ダンススクールの発表会のチケット代を東日本大震災の被災地に寄付していて,自分が頑張った分だけ届くので毎日ダンスの練習を頑張っている」など素敵な報告の声があがりました。

他にも「勉強が楽しいと思っているか?」「自分にとっての幸せとはなにか?」など講演してくださった御三方から質問があがり沢山の考え・思いが飛び交い良い対談となりました。

また,ある生徒からプレゼンターにこんな質問が上がりました。「何かをするときに自信がもてない。自分の意志を自信をもって伝えるためにはどうしたらいいか?」

するとこんなアドバイスが返されました。

**愛凜七さん**：いろいろな人に自分がみられているから「どうしょ,どうしょ💧」となるのではなく見てくれているからこそ自分を信じて一人ひとりに届けようと思うことが大事

**クリスさん**：「自分を好きになって何事も頑張ってみてごらん」という担任の先生の言葉を信じて,目立ちたくない→頑張ってみる⇒褒められた 目立ちたくない→頑張る⇒褒められたの繰り返しで自信がついた

**百華さん**：自信がない自分を責めないこと。行動することに怖いと思う自分に早く気づきそんな自分を受け止めてあげることで気持ちが楽になる。その力をもつことで他の人の痛みも理解できる人になれる

以上が今回の対談レポです。

このように、今年から土曜活用が変化しました。今までの土活では授業を行っていましたが、これからは様々な分野で幅広い講演・対談会が開かれます。まだ進路や将来の夢、志に迷っている方、ぜひ積極的に参加してください。皆さんの視野を広げる良い機会となるでしょう。

### 第3回世界青少年「志」プレゼンテーション大会に参加したい生徒の皆さんへ

北見俊則大会実行委員長プレゼンより

***T*ogether** みんな一緒に

***E*veryone** 一人ひとりが

***A*chieve** 達成しよう

***M*ore** より多くのことを

志を発表すると

応援してくれる人が！

ホームページ上QRコードからLINE@を追加して応募できます↓

<https://wyk.kokorozashi.me/>